

第2回 学習会開催

6月10日、よろ一にて青年部第2回学習会を開催し、57人(うち消防協2人、病院12人)の部員が参加しました。今回は、賃金合理化の経過説明・分散会・新人のみを対象に「労働運動についての基礎学習」の講演がありました。



アツク語って
くださった柳
瀬前青年部長



参加した12人の新人を対象に柳瀬大介前青年部長から「労働組合とは? 青年部とは? 自治体労働者として知っておきたいこと」と題して講演が行われました。

講演では労働組合とは何なのか、なぜ労働組合を組織していくのかなど基本的な話から、賃金、政治闘争、地方自治体の現状についても話があり、最後には青年部運動について「柱である学習・交流・実践を基に失敗を恐れずに活動して欲しい。役員だけが活動するのではなく1人1人がしっかりと活動し、1人の100歩よりもみんなの1歩が大切」と話されました。

ろうどうくみあいって?

分散会では、職場実態アンケートをもとに、普段の職場環境や時間外手当などについて話し合いました。

時間外手当について、個人の時間外請求書を上司がまとめて保管している係があり、「勤務終了後に上司が声をかけてくれるので請求しやすい」という発言がありました。しかし、「毎年、業務の引継をする時間は時間外請求しないのが当たり前になっている」「周りの人が請求しないので自分もしていない」という方もおり、同じ時間外勤務をしても環境によって請求できないのはおかしいのではないかという話になりました。特に



職場の状況を青年部員と分かち合える場。分散会の様子

分散会では職場実態が明らかに

1年目の方は、自分から言いづらい、そしてどんな時に請求していいのかどうか線引きが難しいので周りの環境を変えていくしかないという話し合いになりました。

さらに、「業務量が多くて時間に追われている中で、本当はもっと時間をかけて丁寧に業務を行いたいが、なかなか出来ない」といった、業務量と人員配置のバランスの問題も明らかになりました。

本郷青年部長の集約では、「職場環境を良くすること、より良い地域サービス・住民サービスができることにつながる」「今日は病院職場の方の参加がとても多い。市役所だけでなく病院職場の思いも共有していくことが大事」とのお話がありました。

おまけ

交流会で、葛西選手に遭遇!!

